

# 平成 26 年度宮城県被災文化財等保全連絡会議研修会

## ■趣旨

東日本大震災後、被災資料の収蔵場所として、プレハブ収蔵庫の新設や、既存建物の改修など多様な形態で場所が確保されている。そこでは、様々な条件の下に環境が構築されている。現在進行している収蔵環境構築事業は、被災ミュージアム再興事業により資金的な面でのケアがなされており、より安定的な環境の構築が図られている。一方、文化財の収蔵場所という観点で見たとき、既存建物の改修やプレハブは平時においても各地で利用されており、また予算的な制約からその多くが文化財に対して不適切な状態で収蔵されている。現在進行している、多様な収蔵環境の構築作業は、平時の文化財収蔵庫の問題とも密接に関わり、より安価、軽易に改修を行うための知見を得る作業ともいえる。そこで、今回は、現在進行しているいくつかの収蔵環境構築作業の事例を通して、より実現性の高い収蔵庫改修の方向性を探るために開催するものである。

■日 時： 第 1 日 平成 26 年 11 月 19 日(水) 15:10～16:40  
第 2 日 平成 26 年 11 月 20 日(木) 10:30～15:30

■場 所：東北歴史博物館 研修室

## ■次 第

第 1 日：資料保存環境の基本についての講話

(講話 15:10～16:20, 質疑 16:20～16:40)

講師：独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 主任研究員 吉田直人 氏

第 2 日：事例報告と総合討論 10:30～15:30(受付 10:00～10:30)

1. 開会

2. 事例報告 10:30～12:00

①気仙沼市仮収蔵施設の保存環境

国立民族学博物館 准教授 日高真吾

②石巻市仮収蔵施設の保存環境

東京文化財研究所 主任研究員 森井順之

東北歴史博物館 上席主任研究員 及川規, 学芸員 芳賀文絵

③涌谷町仮収蔵施設の保存環境

東北歴史博物館 学芸員 芳賀文絵

3. 福島県の状況について 13:30～14:00

福島県立博物館 学芸員 杉崎佐保恵

4. 総合討論 14:15～15:30

■ パネラー

東京文化財研究所	主任研究員 吉田直人
東京文化財研究所	主任研究員 森井順之
国立民族学博物館	准教授 日高真吾
福島県立博物館	学芸員 杉崎佐保恵
東北歴史博物館	上席主任研究員 及川規
東北歴史博物館	学芸員 芳賀文絵

■ コーディネーター

東北歴史博物館	副主任研究員 小谷竜介
---------	-------------

5. 閉会